

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育目標や月目標、「保育士が何を願って保育をしているか」などを保護者の方へ伝えるため、玄関掲示や「10の姿に基づくドキュメンテーション掲示」や保育だよりを活用している。 ・朝礼や園内研修、「10の姿に基づくドキュメンテーション掲示」により、保育所の基本方針や理念の職員への周知を図っている。 		
改善できる点/改善方法：		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は「すべての子どもと親が幸せを実感できるまち～子どもと家族の笑顔を地域全体で育むために～」を基本理念とし、「各務原市子どものみらい応援プラン（第2期各務原市子ども・子育て支援事業計画）」を策定している。計画期間は令和2～6年度の5年間であり、現在はこの計画に基づいて、市の教育・保育施策を実施している。 ・近年は、支援を要する児童（要支援児）の入所希望が増加しており、鶯沼西保育所は自然豊かな環境や、バリアフリー施設の特徴を活かして、多くの要支援児の受け入れを行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所は市内保育所等に先駆けて、要支援児の受け入れを積極的に行っている。鶯沼西保育所においても、要支援児の受け入れを行っており受審時は、4歳児の肢体不自由児（独歩不可）の児童を、受け入れ予定で個別交流を行っていた。 		
改善できる点/改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	①・b・c

	る。	
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は現在中長期ビジョンとして「各務原市子どものみらい応援プラン」を策定している。更に令和7年以降の計画となる「各務原市こどもみらい応援プラン（各務原市こども計画）」を策定中であり、市全体の教育・保育二一の現状や見通しを適切に反映した確実な計画を目指している。 ・鶴沼西保育所では保育内容について、毎年「全体的な計画」を策定し「全体的な計画」の記載項目の中で、「保育理念」「保育方針」「保育目標」は中・長期を見据えた内容となっている。 		
改善できる点/改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中・長期計画を踏まえて策定されている「全体的な計画」に基づき、保育の年間計画・月案・週案・個別記録を策定している。 ・児童の年齢に応じた領域ごとのねらいは、各担任保育士が作成し、保育所主任が全体（案）を作成し、園長が最終チェックを行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体的な計画」では、児童の年齢に応じた領域ごとのねらいを毎年設定しているが、そのねらいは各担任保育士が作成し、保育所主任が全体（案）を作成し、園長が最終チェックを行っている。 ・各事業（行事）において、児童に身につけてもらいたい領域（養護・教育・食育）が設定されており、事業の実施後には振り返りを行っている。 ・また、施設全体として、1年をかけて特に研究したい分野を取り上げ、毎月（第3水曜日）の研修会で、職員全体で学びを深めていく取組も行っている。 ・具体的には、「クラス運営の振り返り」→「園全体として仮説に基づいての成果」→「課題の振り返り」→「次年度に向けた事業計画（主任がたたき台を立案）」→「全体での話し合い」の手順で研究しており、PDCAサイクルを回している。 		
改善できる点/改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・@・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業（行事）においては、年度初めに年間行事計画を保護者に手紙を配布し、周知している。 		
改善できる点/改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事だけでなく、保育所としての施設・設備の改修などを含めた事業計画書を策定し、保護者に周知することが望まれる。 		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能し	@・b・c

	ている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上も兼ねて、『10の姿に基づくドキュメンテーション掲示』に取り組んでいる。子どもの行動の中に、どんな学びがあるか？を考え、言語化し、園長・主任からの指導を受け掲示することは、担任保育士の保育の質の向上に繋がっている。 ・保育安全マニュアル研修、不適切保育防止研修などを毎年全職員が受け、自分の保育を振り返る機会が持たれている。 ・年度ごとに保護者アンケートを行い、保育所全体の自己評価をしている。今年度は初めて第三者評価を取り入れ、より良い保育所作りに向けて、組織的に資質向上を図っている。 		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の行事において、保護者アンケートを行っている。いただいた意見や改善案については、職員に共有し、次年度の保育や個々の行事に活かしている。 ・自己評価における課題や改善点は、書面で保護者に通知すると共に、職員にも回覧し、朝礼等で伝えている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議、朝礼等において、自らの役割と責任、園運営に関する方針や取り組みについて話し、参加できない職員に対しては、記録を見てもらおうなどして周知を図っている。 ・不在の際に有事が起きた場合は、保育所主任が中心となって対応し、子育て応援課・園長への連絡の徹底を周知している。 		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令順守や関係法令については岐阜県保育協会や、市が主催する研修に園長が参加し、研修参加者からの報告を園長は受け、職員にも周知を図っている。 ・それらに関する資料ファイルや関係書類は事務室に置き、職員が常時閲覧できるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	@・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関連機関と連携を図りながら、要支援児への適切な保育を模索し、担任及び担任補佐の職員もカンファレンスに参加できるシフト作りに努めている。また、担任との連携を図りながら、全職員が共通の援助ができる組織づくりを行っている。 年度初めに全職員に向けて、「学びあえるチーム」を目標にあげ、教育・研修の充実に取り組んでいる。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所の予算を伴わない取り組みとしては、「ノンコンタクトタイム」を取り入れるなど業務効率化を推進している。 予算を伴う業務の効率化については、保育所の現状を子育て応援課と連携を図りながら、改善策を検討している。 「コドモン」、「午睡チェックセンサー」を導入し経営の改善を図っている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 上席とのヒアリング等の際には、保育士が保育に専念できる時間を確保するために必要な環境整備を伝えるなどし、質の高い保育を行える環境づくりに努めている。 採用した保育士への指導や、園全体のサポートなど、保育所の円滑な運営ができるよう、ベテラン保育士（再任用保育士）を配置している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「全体的な計画」で保育理念や保育方針を示し、理念や方針を実現する職員像は明確にしている。 年2回人事評価を行っており、評価項目についても、職員に周知されている。 保育士については、業務内容、勤務先、勤務条件等に意向調査を行っており、働きやすい職場の実現に向けて対応している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
16	<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	@・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の週休、年休を考慮しながら、保育が円滑に進むよう無理のない勤務表を作成し、職員が休憩時間などを取得できるよう配慮している。 		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が目標管理シートを作成、提出し、前期・後期に面談を行っている。個々の取り組みについては、認めたり、相談に乗ったりする中で、職員の質の向上を図っている。また、園長・保育所主任からのコメントが、個々の励みにつながり、反省を含めた振り返り・次への課題の方向性につなげている。 		
改善できる点/改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の研修に関する基本方針や計画が策定され、研修が実施されている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、「研修体系図」を作成し研修計画が明文化されている。 ・毎月第3水曜日を「保育士研修の日」とし、午後に保育士が研修を行う時間を設定し、保育所及び自身が必要とする研修を受ける体制が整っている。 		
改善できる点/改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの研修の機会が確保されている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人職員には再任用担当者が教育プログラムを作り、年に2回実際の保育を見て教育する場が設けられている。 ・6年目職員には6年目研修と位置付けられた、就職してからの学びを自身でまとめ、発表する場が設けられており、有益なふりかえりの機会となっている。 ・公開保育を行い、自身の資質向上と共に、園全体の学びに繋げている。 ・月に1回、公私立保育所合同での保育士研修会を行い、資質向上を図っている。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職等の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の積極的な受け入れを行っている。 ・実習生のクラス配置では、聞き取りを行い、実習生の意欲や学びにつながる配置や実習を行っている。 		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	@・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園式・進級式に全園児に配布する『入所のしおり』に、保育目標等を載せている。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前には、園での行事に地域の民生委員・児童委員を招いて、保育所の保育を知ってもらい、行事に参加してもらおう機会を作っていた（コロナが第5類に移行しても、当面は民生委員・児童委員への参加の案内は見送っている）。 ・今年度は、第三者評価を受審し、更なる運営の透明化を図っている。 		
改善できる点/改善方法：		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・経理書類においては、市監査委員の定期監査・決算審査により適正な確認が行われている。 ・保育所における経営・運営等は市の子育て応援課の指導のもと公にされている。 		
改善できる点/改善方法：		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・月に2回、地域の未就園児との交流の場として、『すくすく子育て広場』を行っている。 ・地域のJAと連携し、畑でじゃがいも堀りやさつまいも堀りなどの交流が行われている。 ・寺子屋事業として地域の中学生との交流が行われている。 ・全国都市緑化岐阜フェアのたねダンゴ事業に参加している。 		
改善できる点/改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の終息を待って、今後コロナ以前の地域交流の更なる規模の拡大が期待される。 		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の連携は行っている。 		
改善できる点/改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ発生前には、ボランティアを受け入れてきたが、近年は受け入れを行っていないので、コロナウイルス感染の終息により、マニュアルの整備など、ボランティア受け入れの体制の再構築が期待される。 		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・育児に悩みを抱えていたり、育児能力が低かったりする保護者などに対しては、子ども家庭支援課および子育て応援課と連携を図りながら、支援を行っている。 ・障がいのある園児への適切な支援方法は、地域の専門機関と連携し、カンファレンスも行いながら、援助方法を考えている。また、保護者支援も地域の専門機関と連携し、行っている。 ・すくすく応援隊（保育士や保健師等を派遣し、子育てや社会性の発達が緩やかな乳幼児を早期に発見し、保育所、幼稚園、家庭等において適切な支援を行うとともに、必要な療育に繋げる仕組みを構築する取り組み）と連携し、気になる園児の適切な支援方法について考察し、保護者にもその結果を伝え、家庭での子育てに役立ててもらっている。 		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保育所は、育児全般の相談ができる「すくすくホットライン」（平日 10:00～14:00）を開設しており、子育てについて、悩んだり困ったりした方からの相談の電話を受けている。 		
改善できる点/改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・鶴沼西保育所は、三次避難所に指定されている。 ・災害時には、公共の施設として、また公務員として地域のために奉仕できる体制をとっている。 ・「すくすくホットライン」により、地域の方の育児全般に関する相談を受けている。 ・関係機関との連携により、障がい児交流保育が行える体制を整えている。 		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・全職員に対し年に1回不適切保育防止研修を行い、人権擁護のためのセルフチェックリストで、自らの保育の振り返りを行っている。 ・子どもへの共通の理解を持つために、朝礼で適切な援助の仕方を伝え、担任が定めた援助法を紙面で回覧している。（職員室のみとし持ち出しは禁止されている） ・子どもの人権や主体性の尊重という保育の理念や基本方針を明示し、玄関等に掲示してある。 ・子どもの権利条約・人権・虐待防止等についての研修を実施し、全職員が共通理解のもと子ども一人一人を大切に保育している。 		
改善できる点/改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・排泄・着替え・シャワー等子どものプライバシー保護についてのマニュアルを整備し、職場研修を実施して職員に周知徹底をしている。 ・保護者には、入所説明会や、各種参観の案内においても、プライバシー保護について記載をし周知している。 		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㊟・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者に対して、保育所入所に必要な情報を積極的に提供するとともに、できる限り保育所見学を行ってもらい、園の保育や雰囲気になじみを得た上で利用してもらうように、案内している。 ・地域の未就園児が来園できる「すくすく子育て広場」時には、保護者からの質問に答えたり、見学の時間や園児との交流の時間を設けたりしている。 		
できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㊟・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は毎年度「保育所等入所のしおり」を編纂しており、入所に当たって、通園に当たって必要な事項を記載している。 ・鶴沼西保育所は「保育所など入所のしおり」を配布し、入所が決まった方には、説明会を実施し、入所に当たっての情報提供を十分に行い、保護者の不安解消に努めている。 		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所などの変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㊟・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育所・保育園、認定こども園への転所の際には「児童票」「個別指導計画」「健康診断事前調査票」等を転所先に先付し、保育が継続して行われるように配慮している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㊟・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、発表会などの行事に都度、保護者アンケートを行い、利用者の満足度を調査し、結果を次年度の取り組みに活かしている。 ・子ども達の満足した生活・遊びを保障するため、保育日誌で日々の日誌の振り返り等を丁寧に行い、環境を整えている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㊟・b・c
良い点／工夫されている点：		

<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応に対するマニュアルが整備されている。 ・苦情受付 BOX が玄関に設置され、第三者委員の方の名前と合わせて周知している。 ・苦情を受けた場合は、速やかに苦情内容を子育て応援課に報告し、連携して、対応方法を考え、掲示等で対応策をフィードバックしている。 ・職員にも苦情内容、今後の課題、改善策等を伝え、質の向上に繋げている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情および解決策を公立4園に水平転換し、全園の質の向上につなげていく。 		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の案内通知や保護者とのコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気づくりに努めている。 ・必要に応じて、園長から声を掛け、面談なども行っている。 ・相談時には、時間と場所を設け、プライバシーを守り、落ち着いた相談できるように配慮している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談や意見は、園長・保育主任に報告することを徹底している。 ・相談・意見の内容に合わせて、担任または園長、保育所主任が対応する等を、園長が決定し、速やかに対応している。 ・必要に応じて、子育て応援課にも連絡し、連携を図りながら対応を行っている。 ・意見や相談内容は朝礼や会議で職員に周知し、共通した対応を行えるようにしている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告は口頭での報告後、今後の対策と共に書面に記入し、職員へ朝礼及び職員会で周知している。 ・事故怪我報告においても、今後の対策と共に書面に記入し、朝礼等で職員へ周知している。また、月ごとに子育て応援課への報告も行っている。 ・大きな事故等については、別紙に記入し、再発防止策の徹底につながるよう子育て応援課に報告し、指導を受けている。 ・施設点検・遊具点検（各週1回）行っており、事故防止に努めている。また、建築基準法上の第12条点検も園の保育士だけでなく、専門業者へ業務委託で行っており、保育士や行政職では気付くことができない施設の不具合を発見し、修繕・工事につなげている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症マニュアルに基づき、感染症予防および対応を行っている。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの職員会において、嘔吐対応シュミレーションを行い、職員の誰もが対応できるようにしている。 ・感染症が出た際は、クラスと病名を玄関掲示にて保護者へ知らせ注意喚起している。 ・季節の感染症の特徴や注意点を掲示やおたよりで保護者に知らせ、予防への意識を高め対応の仕方の知識を伝えている。 		
改善できる点/改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの非常災害対策計画において、役割分担や災害発生時の対応などを決め、職員に周知している。 ・備蓄品はリストが作成され、管理者が管理し、整備している。 ・緊急連絡網が整備されている。 		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され活動が提供されている。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保育の標準化は、毎日の朝礼において常に確認し、朝礼ノートにおいて職員に周知している。 ・保育安全マニュアル（不適切保育含む）において、標準的な実施方法を文書化している。 ・要支援児への対応の差異をなくし園児がより安心して過ごせるよう、担任が作成した支援ノートが作成され、職員室のみでの閲覧とし、日々職員が確認し保育にあたるようにしている。 		
改善できる点/改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルについては、年度末や、必要に応じて見直しを行うなどして、サービスの標準化に取り組んでいる。 ・標準的な実施方法の見直しは、日々の保育日誌でも行っている。 ・要支援児の支援ノートは、日々の話し合いや検討を基に、更新されている。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① 個々に支援が必要な利用者に対する個別の援助計画を適切に策定している。	@・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保育所主任が指導計画の責任者を担い、アセスメントに基づく指導計画が策定されている。 ・保育課程に基づいた指導計画が作成されている。 ・月ごとの反省、振り返りに基づき、実態に合わせた月の指導計画が作成されている。 ・「すくすく応援隊」（保育士や保健師等を園に派遣し、ことばや社会性の発達が一層ゆるやかな乳幼児を早期に発見 		

し、保育所、幼稚園、家庭等において適切な支援を行うとともに、必要な療育につなげる仕組みを構築する活動)や、児童発達支援事業所との職員との情報共有を密にし、指導計画に活かしている。		
改善できる点/改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別の援助計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は月ごとに振り返りや反省がされ、主任の指導が行われている。 ・振り返りや反省等に基づき、次の月の指導計画が立てられ、クラスの実態に合った保育につなげている。 ・実態に合わせた月のねらいが立てられている。 		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・個別記録において、子ども一人ひとりの保育実施状況が記録されている。 ・必要に応じて、職員会において個の情報を共有する仕組みができています。 ・保育士研修会のエピソード研修、10の姿に基づくドキュメンテーション掲示において、職員の情報の共有化を図ると共に、子どもの捉えを多面的に行える仕組みを作っている。 		
改善できる点/改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、全ての職員から「園児情報保護誓約書」を提出してもらい、個人情報保護の重要性を認識するよう対策を取っている。 ・また、保護者からは、年度初めに写真撮影等の同意書を提出してもらっており、意に反してマスコミ等に写真・動画を提供しないよう、細心の注意を払っている。 ・個人情報を入力された記録に関しては、職員室（セコム）の鍵のかかる書類棚に保管している。 		
改善できる点/改善方法：		

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-1 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ-1- (1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画は、保育所の理念・方針・目標に基づき、子ども達の心身の発達や保育所の環境の実態に応じて作成している。 ・各学年ごとに保育実践の振り返りから、全体的な計画の評価・反省を基に、次年度の保育目標・全体的な計画の作成を行っている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2- (1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度、湿度、換気、採光などに配慮し、定期的に検査を行っている。 ・クラスや子どもの実態に合わせた午睡の環境を整え、保護者にも伝えている（支援を要する子どもの午睡環境等）。 ・トイレは子どもが使用しやすいようマットを敷くなどしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-2- (2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動の裏にある内面理解を常に話し合い、職員全体にも朝礼や支援計画を伝えている。 ・朝礼でも日々振り返りを行うと共に、不適切保育防止研修を行い、保育士の言動には十分留意している。 ・子どもの特性に応じ、保護者とも話し合いながら、クラス配置などを行っている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-2- (3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保育士研修会、園内研修等において保育所保育指針に基づく基本的な考え方は周知できている。 ・基本的な生活習慣の習得においても、実態に合わせて、子どもの喜びにつながるような主体性を意識した支援方法を行っている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-2- (4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・市の研究主題のサブテーマを「子どもの思いに寄り添った保育環境」と設定し、環境を意識した保育を目指して研修を行っている。 ・子ども自らが心を動かし遊びだしていける環境作りのために、子どもの行動の意味を捉える目を養っていけるよう、「10の姿に基づくドキュメンテーション掲示」及び園内研修を行っている。 ・地域のJAの方に栽培活動の支援をいただき、体験活動をしている（収穫した野菜は給食で食べている）。 	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画を基に、指導計画を立て、子どもの実態に沿って保育内容や方法を配慮している。 ・保育士研修会においても、講演を聴く、年齢別研修などし、常に研鑽を行っている。 ・園内研修の充実も図り、互いの保育を見合い意見交換し、10の姿に基づくドキュメンテーション掲示を行い、子どもの行動の意味の読み取り、思いに寄り添った保育環境を実現できるよう心掛けている。特に愛着関係の築きを大切にしている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画を基に、指導計画を立て、子どもの実態に沿って保育内容や方法を配慮している。 ・保育士研修会においても、講演を聴く、年齢別研修などし、常に研鑽を行っている。 ・園内研修の充実も図り、互いの保育を見合い意見交換し、10の姿に基づくドキュメンテーション掲示を行い、子どもの行動の意味の読み取り、思いに寄り添った保育環境を実現できるよう心掛けている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画を基に、指導計画を立て、子どもの実態に沿って保育内容や方法を配慮している。 ・保育士研修会においても、講演を聴く、年齢別研修などし、常に研鑽を行っている。 ・園内研修の充実も図り、互いの保育を見合い意見交換し、10の姿に基づくドキュメンテーション掲示を行い、子どもの行動の意味の読み取り、思いに寄り添った保育環境を実現できるよう心掛けている。 ・要支援の子が多い実情を踏まえ、個およびクラス全体のより良い発達につながるよう、常に職員配置及び保育内容や適切な環境整備を考え、再構成している。 ・どの子の発達も促していけるより良い保育環境作りに努めている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援児への対応においては、保育所等訪問支援事業やすすく応援隊など、専門的な視点からのアドバイス（事業所に通っている子は職員が訪問）も積極的に受けながら、個およびクラス全体にとってより良い保育環境や保育内容、保育士の援助などを試行錯誤し、職員全体で確かめ合っている。 ・個別の指導計画も作成し、振り返りを行いながらより良い支援につなげている。 ・職員全員の対応の差異を少なくし、子どもにとって分かりやすく安心した園生活を保障するために、共通理解のノートを作り活用している。 ・研修や講演会などにも積極的に参加しながら、必要な知識や情報を得て、研鑽を行っている。 ・必要に応じて、保護者との面談も行い、保護者の思いも受け止め、必要な情報提供を行っている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早遅番専門のパート保育士を配置し、個を理解し、援助できる体制を整えている。 ・長時間にわたり園生活を過ごす子どもの思いに寄り添えるよう、子どもが選んだ遊びができる環境を整えている。 ・異年齢保育やわらべ歌遊び等も大切にしながら、ゆったりと家庭的に過ごせる時間を保証している。 ・18時半以降も保育が必要な園児には、夕食に響かない量に配慮しながらおやつを提供している。 ・クラスの引継ぎノートを作り、それぞれの時間帯での子どもの様子や怪我などを引き継ぎ、必要に応じて保護者の方へ声掛けができる体制ができています。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育所児童保育要録」は主任・園長も確認しながら、子どもの良さや全体像が伝わるような記入を工夫している。 ・「幼保小連絡会」において就学後の子どもの様子を見学したり、今後の保育におけるどのような工夫が必要かを見直したりし、就学を見通した保育に活かしている。 ・教員の体験研修も積極的に受けながら、小学校教員と共に良い学びにつながる保育および教育を考察している。 ・5歳児公開保育に園児が就学する小学校に案内を出し、校長先生や教務主任、担任などから、ご意見をいただき、滑らかな就学に向けた保育内容や援助の仕方の見直しや改善を行っている。 ・年度の初めに、小学校に就学した児童の様子を見せてもらい、小学校の先生との交流を行い、連携をしている。 ・小学校での生活を意識し園児が給食の食べ終わる時間なども少しずつ意識ができるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅳ－３ 健康管理

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅳ－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所安全マニュアルを作成し、それに基づき子どもの健康管理を行っている。 ・体調悪化や怪我などは担任から主任・園長に速やかに伝達し、必要に応じて保護者に連絡し、事後の確認をしている。 ・保健計画を作成し、年齢に合わせ子どもへの働きかけを行うと共に、園だよりにおいて保護者に伝えている。 ・保育士は、救命救急講習を数年に1度受講している。 ・SIDSに関する注意喚起を行うと共に、目視と午睡チェックセンサーによるチェックを行っている 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－３－（２） 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診の結果は個別記録に記録すると共に、関係職員に周知している。 ・健診の結果は保護者にも伝え、子どもの健康の為、受診や治療の経過を確認している。 ・検査結果を受け、保護者とも連携を図りながら、保育所での生活で配慮すべき点など確認している。 ・歯磨きや食生活において関心が持てるような働きかけを、絵本などを中心として行っている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－３－（３） アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>㊦・b・c</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患、慢性疾患などのある子どもについては、医師による生活管理表を提出してもらい、適切な対応を行っている。 ・アレルギー物質の除去食に関しては、保護者、職員、給食室で献立のチェックを行い、検食時に園長または主任が確認を行い、間違えのないよう決められたお盆での配膳を行っている。 ・できる限り他児との相違を感じさせない除去食に配慮している。 ・アレルギー児は、机を他の子と一緒にせず、除去食と通常食が混同しない環境を作っている。
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-（1） 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育年間指導計画に基づき、楽しく食べる子を願って保育を行っている。 ・個々の子どもに合わせ、食に対する楽しみが大きくなるような援助を行い、保護者にも伝え、連携を図りながら進めている。 ・5歳児は野菜を育て、収穫して持ち帰ったり、給食室に持っていき、給食で食べたりしながら、「食」「自然」についての関心を深めている。収穫した野菜を給食に加えてもらう日は、自分たちで園内放送で野菜の紹介を行っている。 ・こどもまつりでは、子どもが好きな給食メニューの人気投票を行い、結果を玄関に掲示し、保護者に紹介した。 ・子どもが食べている様子を写真掲示し、保護者に食べている様子を伝える工夫をしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-4-（2） 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理チェックリストの基づき、衛生管理を適切に行っている。 ・家庭との連携を図りながら、個の状態を把握し、職員・調理員と情報を共有しながら、発育状況に合わせた調理の工夫をしている。 ・子どもの精神的な負担にならず、食べてみようとする意欲につながる量や食材を提供している。 ・子どもが季節感を味わえるようなメニューを提供したり、野菜を飾り切りにする等の工夫をしたりしている。 ・地域特産の「各務原にんじん」に親しむイベントを、地元の大学主催で行い、人參体操を踊ったり、食文化に触れたりする行事を取り入れている。 ・調理員が、給食の時間に放送で給食のメニュー紹介や献立名の由来等の話をし、子どもの反応を楽しみながら交流をしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-（1） 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全園児の保護者が、担任との個人懇談を行っている。 ・10の姿に基づくドキュメンテーション掲示により、保育の意図や子どもの学びを伝え、子どもの成長を共有できる工夫をしている。 ・必要に応じて保護者との面談を行い、情報交換の内容を記録している。 ・月ごとのクラスの様子（おたより）や保育参観を通して、子どもの成長を伝えていけるよう努めている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2- (1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添った支援を全職員が意識し、安心して子育てができる支援を行っている。 ・必要に応じて関係機関につなげ、適切な助言が受けられる体制を整えている。 ・担任が行う支援と主任・園長が行う支援との役割を分担し、組織的に保護者を支援する体制作りを行っている。 	
改善できる点/改善方法：	
V-2- (2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添った支援を全職員が意識し、職員が連携しマニュアルに基づき適切に対応できる体制作りを行っている。 ・必要に応じて、子育て応援課及び子ども家庭支援課に速やかに連絡をし、虐待等権利侵害の兆候を見逃さず対応できるようにしている。 ・全職員が安全マニュアル研修等にも参加し、家庭での虐待等権利侵害の早期発見・早期対応への意識を高めている。 ・職員には、毎週初めの朝礼で虐待のマニュアルに目を通してから子どもの受け入れをするように伝え、該当する子どもがいたら園長・主任に知らせるように周知している。 	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1- (1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の自己評価（人事評価・目標管理シート）を年に2回、園の自己評価を年に1回行っている。 ・保育士の自己評価は主任・園長が確認し、面談を行い、今後の質の向上や意識の向上に向けた助言を行っている。 	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1- (1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置や、玄関施錠をしたり門を閉じたりすることで、外部からの侵入への対策を取っている。 ・不審者対応の訓練を行っている。 ・交番に隣接した立地である。。 	
改善できる点/改善方法：	

VII-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定を年度初めに知らせ、予定を立てやすいよう配慮している。 ・行事に参加できなかった保護者に対し、口頭で子どもの様子を伝えたり、写真掲示を行ったりして、成長を感じていただけるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の話し合いに園長も参加し、保護者の方の思いに寄り添いながら、支援している。 ・役員の方に寄り添いながら、必要に応じて仲立ちを行うなどしている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学先の小学校の幼保小連絡会に参加している。 ・小学生の施設見学、中学生の職場体験、教員の職場体験研修を受け入れている。 ・毎年度後半に小学校の先生を招いての年長児の公開保育を行い、引継ぎを行っている。 ・毎年度後半に、幼保小交流会に参加し、1年生児童との交流を行っている。 	
改善できる点／改善方法：	